**日本障害フォーラム（ＪＤＦ）構成団体の皆様、関係者の皆様**

共同通信社生活報道部

電話　０３（６２５２）８１０５

ＦＡＸ　０３（６２５２）８７４５

担当：梅岡、岩原、土井

Email:　kurashi@kyodonews.jp

　日頃から共同通信社の取材活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

　弊社は全国の新聞社や、海外、テレビ局・ラジオ局、ネットニュースなどに記事を配信している通信社です。

　今年３月で、東日本大震災から１０年となります。障害当事者の皆様の災害への備えや災害時のご経験についてうかがい、記事を配信したいと考えております。記事は３月初旬に、主に全国の地方紙を中心に掲載される見通しです。コロナ禍の影響についても伺います。

　お忙しいところ誠に恐縮ですが、別紙調査票にご回答いただき、

データファイルの場合はご入力・上書き保存の上メール kurashi@kyodonews.jp

または

ＦＡＸ０３（６２５２）８７４５

にてご返送いただくようお願いいたします。

ウェブフォーム（Microsoft　Forms）でのご回答も可能です。

郵送によるご回答をご希望の方は、お手数ですが当方までご連絡下さい。

　大変勝手ながら記事作成の都合上、**２月１９日（金）**までにご返送いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

いただいたご回答は報道目的のみに使用します。個別のご承諾のない限り、記事にお名前や個人が特定できる情報を記載することはいたしません。

　ご不明の点がございましたら弊社生活報道部までお問い合わせ下さい。

03-6252-8105 [kurashi@kyodonews.jp](mailto:kurashi@kyodonews.jp) 担当：梅岡、岩原、土井

**共同通信社）防災アンケート**

**今年３月で東日本大震災から１０年を迎えるにあたり、障害当事者の方に防災に関するお考えを伺うアンケートです。回答して頂いた内容をまとめて記事にし、全国の地方新聞社に配信します。コロナ禍の影響についても伺います。**

※このアンケート**に**回答している方は、どなたですか？

１．障害当事者・本人

２．障害当事者・本人の答えを家族や支援者が代筆

３．家族や支援者が代理で記入

※障害当事者・本人が回答している場合（代筆を含む）はご自身について、また家族や支援者が代理記入する場合は障害のあるご本人について、質問にご回答ください。

性別（　　　　　　　）

年齢　１．10代以下　　　２．20代　　　３．30代　　　　４．40代

　　　５．50代　　　　　６．60代　　　７．70代　　　　８．80代以上

障害種別（あてはまるものすべてに○をしてください）

１．視覚障害（全盲・弱視・その他）　　２．聴覚障害（ろう・難聴・中途失聴）

　　３．言語障害　　　　　　　　　　　　４．盲ろう

　　５．肢体不自由　　　　　　　　　　　６．内部障害

　　７．知的障害　　　　　　　　　　　　８．精神障害

　　９．発達障害　　　　　　　　　　　　10．難病

　　11．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

お住まいの都道府県（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※追加取材にお答えいただける場合、お名前と連絡先をご記入下さい。

お名前　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

電話番号/メールアドレス　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　頂いた個人情報は報道目的以外には使用しません。

共同通信社編集局生活報道部　担当：梅岡、岩原

電話０３（６２５２）８１０５

ＦＡＸ０３（６２５２）８７４５

Email: [kurashi@kyodonews.jp](mailto:kurashi@kyodonews.jp)

【防災】

問１．現在、あなたが災害に備えて取っている対策として以下であてはまるものをすべて選んで下さい。

1. 避難行動要支援者名簿への登録
2. 個別（避難）計画の作成
3. 避難所の確認
4. 電源の確保（人工呼吸器、酸素供給装置等などのため）
5. 障害に関係する物資、機材の備蓄（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　）
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
7. 災害発生時、避難を誘導したり、助けてくれたりする人はいますか。
8. はい　　　b.いいえ

問３．過去に経験した災害で、実際に困ったことはありますか。

1. ある b.ない

問４．問３で**「ある」**と答えた方にうかがいます。困った具体的な内容に当てはまるものをすべて選んでください。

1. 被災した（けがを含む）
2. 避難所で必要な支援や配慮を受けられなかった
3. 避難しようとしたが手段や支援がなく断念した
4. 支援者と連絡が取れなかった、もしくは支援者が確保できなかった
5. 情報の入手や利用ができなかった
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
7. お住まいの地域の福祉避難所の場所を知っていますか。
8. はい b.いいえ

問６．福祉避難所を実際に利用しようと思いますか。

1. 思う　　　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. 思わない　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問７．災害時に取り残されたと感じたことはありますか。ある方は、具体的な内容も合わせてお書きください。

1. ある（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. ない

問8．現在、災害時の障害者への国、自治体の支援は十分だと感じていますか。以下であてはまるものを１つお選び下さい。

1. 十分
2. どちらかといえば十分
3. どちらかといえば不十分
4. 不十分

問9．問8で「どちらかといえば不十分」「不十分」と答えた方に伺います。不十分だと思う点について以下であてはまるものをすべてお選び下さい。

1. 災害時に援助してくれる人がいない
2. 避難所で必要な支援や配慮を受けられない
3. 福祉避難所が足りない、もしくは利用できない
4. 避難所にたどり着けない
5. 災害時の支援について国や自治体からの情報が届いてこない／利用できない
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問10．災害時の支援に関し、国、自治体に求めることについてお書き下さい。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【コロナ禍の影響】

問11.　コロナ禍で障害ゆえに困ったことを具体的にお書きください。

問12.　コロナ禍で障害に関して支援や配慮を受けて、助かったこと、うれしかったことをお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

回答はEメールファクス、またはウェブフォームでお送り下さい。